



看護部トピックス

新採用者宿泊研修

平成26年8月27日(水)・28日(木)

コミュニケーション力・ ホスピタリティ向上研修



講師：高塚 人志 先生
鳥取大学医学部准教授

—仲間と気づき学ぶ「こころのコミュニケーション」—
と題して、三朝温泉：湊泉閣で1泊2日のお泊り研修でした。日々の病院業務からちょっと気分を変えて院外で仲間と一緒に、自分を見つめ直し、コミュニケーション、ホスピタリティについて学びました。研修の様子をご紹介します。

「気づきの体験学習」

- 10円玉の裏・表や1円玉の大きさを書いてみて、毎日のように目にしているものでも、関心を持っていないと細かいところまで把握していないことに気づいた。
- 自分のことを分かっているようであまりわかっていないのでは…と思った。もっと自分や他人に関心を持って生活したら新たな発見があって楽しいと思った。
- 一つの言葉を聞いても一人ひとり伝え方が違って、その違いをお互いが受け入れて、話し合ったり同じ時間を過ごす中で、分かり合えるんだなと思った。



“ありの～ままの～
姿みせるのよ～♪”



「聞く力を高める学習」

- 目の前にいる話し手のことをわかってあげることは簡単なことではないと思うが、わかるとうする気持ちやそのまま受け止め受容することが大切だと思った。
- 関心を持ってきちんと向き合ったら人の話を聞くことの大切さを改めて実感した。



「ホスピタリティの実際」について

- とてもほっこりする研修だった。誠意を持ち真剣に話をきき相手の伝えたいことを一生懸命理解しようと思った。今後、仕事でも生かせるものだと感じた。
- 相手はどのように感じているのかと、相手の表情・態度から気持ちを感じ取り、何がこの方には必要なのかということを考えて行動することが大切であるということ学んだ。

今後に活かしたいと思われた事

- まずは相手のことに関心をもつことからということが大切だと学んだ。動きながら他スタッフや患者さんに関心を持って関わっていきたいと思う。
- まずは自分のことをよく知ること、そして相手に関心を向けることがとても大切だし、一番活かしていきたいと思う。また話を聞いたりすると、どうしてもそれを評価してしまいがちだが、まずはそのままを受け止め、わかってあげるところから始めていきたいと思った。

